

2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 IPSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4335 URL http://www.ips.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中川 朋子 TEL 06-6292-6236
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	2,788	4.1	306	20.1	306	20.7	185	6.8
2025年6月期第3四半期	2,679	26.9	255	55.7	253	56.3	173	65.1

(注) 包括利益2026年6月期第3四半期 186百万円 (7.3%) 2025年6月期第3四半期 174百万円 (63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	81.20	80.93
2025年6月期第3四半期	76.21	76.20

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2026年6月期第3四半期	3,051	1,787	1,787	1,677	57.6	56.5
2025年6月期	2,912	1,677	1,677	1,646	56.5	56.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,756百万円 2025年6月期 1,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	1.8	364	0.3	360	0.5	252	△7.3	110.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社アイ・ピー・エス

(注) 株式会社アイ・ピー・エスは2025年7月1日付で株式会社アイ・ピー・エス分割準備会社より商号変更しております。

除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	2,466,000株	2025年6月期	2,466,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	178,025株	2025年6月期	178,025株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	2,287,975株	2025年6月期3Q	2,282,720株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料) 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策などによる影響がみられるものの、雇用や所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化等の地政学的リスクを背景とした世界経済の動向など先行きについては、極めて不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、サステナビリティ経営の実現に向けたIT環境の整備がすすみ、DX推進を追い風に市場規模が拡大しており、生成AIを含むAI技術の進化もあり、業界全体でDXを支える基盤技術への需要が高まっております。

かかる状況の下、当社グループは顧客企業のイノベーションの実現とビジネス変革、成長を支援することを目的として、各種施策に取り組んでおります。当社グループは製造業における業務効率化やデジタル変化に対応する低コストで迅速な導入を可能とする「クラウドERP」が課題解決の鍵として、中堅・成長企業に対するクラウドERPの導入に注力してまいりました。システム構想・実行計画支援の経験者など積極的にキャリアの中途採用を行い、中堅・成長企業のビジネス変革を多面的に支援できるように、単なるERPシステムの導入にとどまらず、コンサルティングパートナーへとビジネスを深化させてきました。

ITエンジニアリング事業においては、AI/IoT技術を活用して工場全体の運営・管理の仕組みを見直し、生産高の増大やコストダウンを目指すスマート工場支援サービスにも取り組んでおり、スマート工場化の進展に向けて、すそ野を広げる活動に邁進してきました。また、業務のDX化が進展している一方、サイバー攻撃が増加傾向にあり、サイバーセキュリティに向けた取組も実施しております。

以上のような活動を積極的に推進した結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、期初に計画しました売り上げを達成し、売上高27億88百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益につきましては、プロジェクト計画の見直しなどにより効率性を高めて、売上高利益率の改善により営業利益3億6百万円（前年同期比20.1%増）、経常利益3億6百万円（前年同期比20.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億85百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

なお、当社グループはERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。製品及びサービスごとの情報は以下のとおりであります。

(ERP導入事業)

売上高21億16百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(保守その他事業)

売上高6億72百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して、1億38百万円増加して30億51百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金11億7百万円、売掛金6億57百万円、固定資産8億97百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して、29百万円増加して12億64百万円となりました。主な内訳は、前受金2億42百万円、退職給付に係る負債4億51百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して、1億9百万円増加して17億87百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金15億6百万円であり、自己資本比率は57.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期連結業績予想につきましては、2025年8月8日に公表しました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226,984	1,107,126
売掛金	777,116	657,723
仕掛品	123,387	121,452
前払費用	196,703	187,996
未収入金	17,650	68,917
その他	10,477	10,996
流動資産合計	2,352,319	2,154,212
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	59,578	87,147
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	21,387	76,353
土地	139	139
有形固定資産合計	81,105	163,641
無形固定資産		
ソフトウェア	777	3,348
ソフトウェア仮勘定	139,388	296,553
その他	787	787
無形固定資産合計	140,953	300,689
投資その他の資産		
投資有価証券	6,540	8,650
関係会社株式	5,973	5,973
繰延税金資産	156,211	237,773
差入保証金	122,507	125,491
その他	47,254	55,316
投資その他の資産合計	338,487	433,205
固定資産合計	560,546	897,536
資産合計	2,912,866	3,051,749
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,676	154,758
未払金	148,123	110,331
未払費用	2,360	10,915
未払法人税等	79,211	190,969
未払消費税等	48,627	16,921
前受金	280,081	242,816
賞与引当金	14,883	74,230
株主優待引当金	7,500	—
その他	31,304	11,222
流動負債合計	787,769	812,165
固定負債		
退職給付に係る負債	409,294	451,879
長期末払金	37,922	—
固定負債合計	447,217	451,879
負債合計	1,234,986	1,264,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	106,816	116,607
利益剰余金	1,407,776	1,506,621
自己株式	△125,139	△125,139
株主資本合計	1,644,703	1,753,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,814	3,002
その他の包括利益累計額合計	1,814	3,002
新株予約権	31,361	31,361
純資産合計	1,677,879	1,787,703
負債純資産合計	2,912,866	3,051,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,679,909	2,788,495
売上原価	1,895,665	1,999,534
売上総利益	784,244	788,960
販売費及び一般管理費	528,948	482,238
営業利益	255,295	306,722
営業外収益		
受取利息	23	91
受取配当金	89	123
未払配当金除斥益	—	263
為替差益	—	527
その他	165	69
営業外収益合計	278	1,075
営業外費用		
支払利息	18	—
コミットメントフィー	1,352	1,350
為替差損	323	—
その他	—	100
営業外費用合計	1,694	1,450
経常利益	253,880	306,347
特別損失		
固定資産除却損	—	2,405
特別損失合計	—	2,405
税金等調整前四半期純利益	253,880	303,942
法人税等	79,910	118,154
四半期純利益	173,969	185,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,969	185,787

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）
四半期純利益	173,969	185,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	1,188
その他の包括利益合計	218	1,188
四半期包括利益	174,188	186,975
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,188	186,975
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	11,580千円	11,620千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。